

科目名称：	総合教養演習	
担当者名：	三浦哲志	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>将来、社会人・保育者として必要不可欠である、広範囲な知識と思考力を身につけることを目的とする授業である。高校までに学習した知識の再確認から公務員採用試験対策の特殊な内容まで幅広く取り扱う予定である。授業においては、説明だけでなく実践を重視し、問題演習の時間を多くとる予定である。それを通じて、知識の確実な定着と思考力の向上をはかりたい。毎回、課題を出し、確認のための小テストを行うので、受講者には欠かさず復習を行って欲しい。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>公務員採用試験に合格するための基礎的知識と思考力を身に付けること。具体的には、1次試験で問われる「一般知識」と「一般知能」に対応できる水準に到達することが目標である。</p>		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、子ども・保護者・地域住民との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	保育・幼児教育を取り巻く様々な問題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	○
DP(3)	保育・幼児教育の分野において、基礎知識を身につけるとともに、使命感、倫理観、責任感をもって専門的な知識や技能を修得し、これらを柔軟に活用していくことができる。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)	60	40			100
幼児教育DP(3)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
毎回の授業課題への取り組み	毎回、必ずやってきた。	まれにやってこない回があった。	やってこない回が何度もあった。	やってこない回の方が多かった。
毎回の授業への取り組み	毎回、集中して授業を受け、内容を完全に理解している。	授業の内容をほぼ理解している。	授業の内容を大体理解している。	授業に出席してはいるが、集中できず、理解もできていない。
小テストの結果	95%以上	80%以上	60%以上	59%以下

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 ガイダンス、公務員試験に対する学生同士のディスカッション、小テスト第1回	事前に配布済の課題「四字熟語」を練習しておく。	60分
第2回 数的推理について解説と演習、小テスト第2回	授業内配布の課題「故事成語」を練習しておく。	60分
第3回 数的推理について解説と演習、小テスト第3回	授業内配布の課題「ことわざ」を練習しておく。	60分
第4回 数的推理について解説と演習、小テスト第4回	授業内配布の課題「慣用句」を練習しておく。	60分
第5回 数的推理について解説と演習、小テスト第5回	授業内配布の課題「同音同訓異義語」を練習しておく。	60分
第6回 文章理解について解説と演習、小テスト第6回	授業内配布の課題「反対語」を練習しておく。	60分
第7回 文章理解について解説と演習、小テスト第7回	授業内配布の課題「類義語」を練習しておく。	60分
第8回 判断推理について解説と演習、小テスト第8回	授業内配布の課題「文学・芸術」を練習しておく。	60分
第9回 判断推理について解説と演習、小テスト第9回	授業内配布の課題「日本史」を練習しておく。	60分
第10回 判断推理について解説と演習、小テスト第10回	授業内配布の課題「世界史」を練習しておく。	60分
第11回 判断推理について解説と演習、小テスト第11回	授業内配布の課題「日本地理」を練習しておく。	60分
第12回 判断推理について解説と演習、小テスト第12回	授業内配布の課題「世界地理」を練習しておく。	60分
第13回 判断推理について解説と演習、小テスト第13回	授業内配布の課題「難読・難解漢字」を練習しておく。	60分
第14回 判断推理について解説と演習、小テスト第14回	授業内配布の課題「英語の基本構文」を練習しておく。	60分
第15回 冬休み課題について解説と演習、小テスト第15回	授業内配布の課題「理科常識」を練習しておく。	60分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、事前配布資料をしっかりと練習し記入しておく。更に当日授業後の復習家庭課題に取り組む。

成績評価の方法・基準

定期試験は、60%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。

授業内小テスト40%、

課題に対するフィードバック

授業内で実施した小テストは確認・評価して返却する。

教科書・参考書

『2023年度版 絶対決める数的推理・判断推理 公務員試験合格問題集』 新星出版社
教科書は毎回の授業で使用する。